

アゼルバイジャン民主主義の起源

95年前、東洋のイスラム世界で最初の民主共和国がアゼルバイジャンで設立された。これは非常に大きな歴史的意義を持っていた。地域における最初の民主共和国の設立は、アゼルバイジャン人の大きな成果であった。アゼルバイジャン民主共和国は、イスラム世界の中で初めての国民国家の欧州モデルの実現経験だった。アゼルバイジャン民主共和国の政体は政治多元主義と複数政党制に基づく院内閣制の古典的モデルに従って作られた。短期間の2年以内には、国のすべての属性が作られ、アゼルバイジャンの国旗と国歌が採用され、国家構造および省庁が形成された。国会が国のすべての状態・法的機関の機能や活動など定義した。政府は国会によって結成され、国会に対して責任があったことである。

アゼルバイジャン民主共和国は、緊張した複雑な社会・政治的形勢で活動していた。短期間で国によって講じた施策は、我々の国民の歴史に大きな足跡を残した。政治付属や国籍や宗教やジェンダーなどにもかかわらず、国民に平等の権利が付与され、国の境界線が定義され、アゼルバイジャンの属性が可決され、国語が公表されることなどアゼルバイジャンの自立のために強い基礎を作成した。民主的な国家建設、経済、文化、教育、軍事の分野でとった措置はアゼルバイジャン民主共和国の23ヶ月の活動を示す主要な領域である。アゼルバイジャン民主共和国は1920年4月に崩壊し、アゼルバイジャンでソ連パワーが建て始めた。1991年に国の独立性を復元した我々の国民は、アゼルバイジャン民主共和国の短期的な活動の豊かな伝統を使用し、歴史的な遺産で独立したアゼルバイジャンを作成した。

それで、1918年から1920年までアゼルバイジャンで法治国家の基礎が作成され、民主的自由と政治的多元主義の広い範囲で市民社会の出現のために前提条件の基礎が作成された。ボリシェヴィキは、アゼルバイジャン民主共和国のすべての成果を切り去れなかったことである。アゼルバイジャンが世界の政治地図で現実のものとなっているという事実を理解しなければいけないことになってきた。そのため、ボルシェビキは、隣接国の間にアゼルバイジャンの土地の切断する計画を放棄し、アゼルバイジャンがソ連の連合共和国として受け入れることが余儀なくされた。

ムサ・マルジャンリ、
編集長

